



「小さく試して検証 PoCのサイクルで企業成長へ」

～ 地域一体となったDX推進のために（県内企業×県内IT企業）～

県内中小企業の皆様が競争力を維持、また強化するうえで、デジタル化やDX推進は不可欠な要素となっております。ただ、どこからどのように取り組めばいいのか、悩まれている方も多いのではないのでしょうか。

本セミナーでは、デジタル化やDX推進に親和性の高い、「PoC」と呼ばれる考え方をご紹介しますとともに、実際に取り組む際に、県内のIT企業と連携して進めていく地域一体となったデジタル化やDX推進の考え方をご紹介します。

日時：2026年3月18日(水) 15:15～(受付開始 15:00)

会場：テクノアークしまね 4階 大会議室

オンラインでもご視聴いただけます。事前登録となります。視聴用URLは受付後メールにてご連絡します。

参加費：無料

会場定員：70名

こんな方におすすめ

- ・紙やExcelが散在している／データを見え化したい／ツール導入が定着しない／AIを業務で試したいといったお悩みや課題をお持ちの**県内企業の方**
- ・PoCについて知りたい、県内企業の課題を解決したいと考える**IT企業の方**

このセミナーで得られること

- ・PoCの基本と活用法が学べる
- ・身近な事例を参考に、DXの取り組み方のイメージができる
- ・低コストでDXの成果を出す方法が分かる

〈申込方法〉

参加申込専用フォーム（会場・オンライン）

URL：<https://forms.gle/3S7fjRFFGM8Myf6Y6>

締切：3月17日までにお申し込みください

お問い合わせ先：OSS-Vision株式会社 井上 050-3593-5521



PoC (概念実証)とは“Proof of Concept”の略称で、新しい取り組みや技術をいきなり本格導入するのではなく、小さく試しながら「本当に効果があるか」を検証していく進め方です。

デジタル技術の導入やDXは、一度で正解を出すことが難しく、実際に使ってみて初めて分かることも多くあります。そのため、簡単な試行やデモを繰り返しながら、業務への効果や課題を確認し、次の改善につなげていくPoCの考え方が有効です。

こうしたPoCを繰り返しながらDXを前に進める考え方と、島根県内での地域一体となった取り組みやすいPoCの活用法をご紹介します。

プログラム

※内容は変更となる場合がございます。

1 PoCについて / 島根県情報産業協会 代表理事会長 井上浩

2 「島根DXパートナーフレームワーク構想」について / 島根県情報産業協会 代表理事会長 井上浩

島根県情報産業協会では、PoCを軸としたデジタル化の繰り返しを「DXスプリント」と名付け、さらに実装を進めていくための「島根DXパートナーフレームワーク」を提唱しています。「島根DXパートナーフレームワーク (DXPF)」は、各社が必要な所からDXをスタート出来るロードマップとなっています。DXスプリントを繰り返し実施し、「データ可視化」から「業務効率化」、「経営効率化」を経てDXの高度化を目指します。

3 DXのスタートとなるデジタル基盤の有効活用 (仮題) / 独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)

デジタル化やDXを推進するうえで重要なシステムやツールとその活用法をご紹介します。

4 PoC → MVP → Ruby Workflowの事例紹介 / OSS-Vision株式会社 代表取締役CEO 井上浩

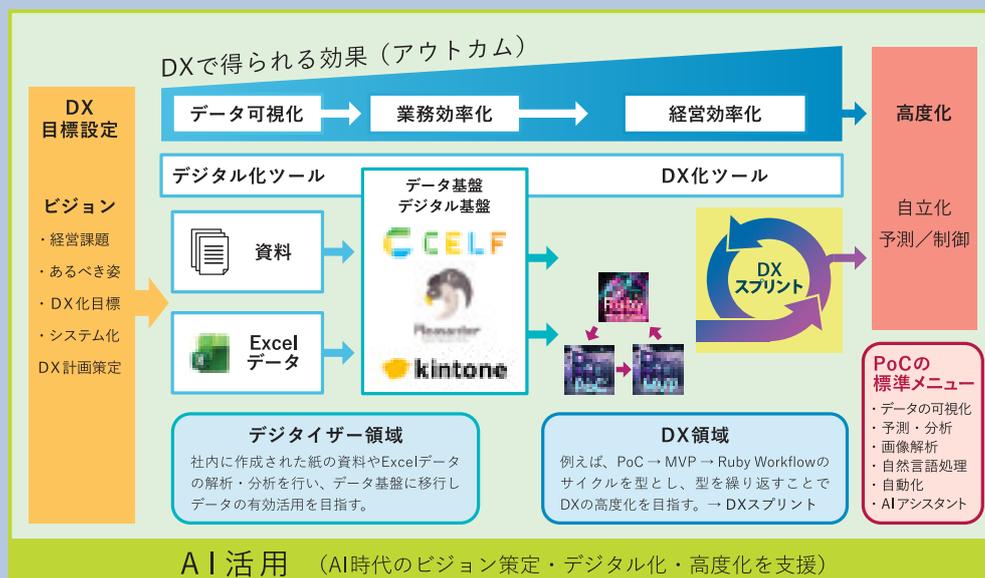
DXスプリントの基盤となるPoC → MVP → Ruby Workflowのサイクルの事例をご紹介します。

5 使われる生成AI (RAG と MCP) / 株式会社トラストソフトウェア 代表取締役 竹内信人 / 藤井律男

AI時代の到来で中小企業にチャンスが来ています。「小さな正解の積み重ね」で育てる実践現場の進め方をご紹介します。

6 島根県施策の紹介 / 島根県産業デジタル推進室

《島根DXパートナーフレームワーク》



CELLFはSCSK株式会社の登録商標です。kintoneはサイボウズ株式会社の登録商標です。Excelは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。